

背景 & 課題

▼函館を、全国・世界に発信していく「実践型の海洋教育のモデル拠点」とするプロジェクト

三方を海に囲まれながら海に親しむ機会の少ない函館で、子どもたちに海洋教育を提供。
2019年に始めた函館朝市ミニ水族館の運営、2020年からの子ども海藻アカデミー企画運営を継続しつつ、
2021年は新たな取り組みを行い、量的にも質的にもパワーアップした。

2021年度実施内容のまとめ

実施①



年間常設の「函館朝市ミニ水族館」に加え、
今夏、函館市の子ども学習施設で海の企画展

実施②



従来の水族館講座、子ども海藻アカデミーに
加えて、1泊2日の海洋教育ツアー、
新講座3種、関係者スキルアップ講座を実施。

実施③



未利用海藻「北海道産青海苔」調査を実施。
飲食店連携（東京・函館）、学校給食10校

量的成果（事業の拡がり）

- ① 函館市の子ども学習施設で「海の未来展」。
開館以来、企画展で最も多い集客数5470人を記録。
- ② 講座を16回開催、のべ参加400人超（当初計画の230人から大幅増）。
飲食店連携8店（東京・函館）、函館市内で学校給食連携10校970名。
函館市、北海道、奥尻町、松前町、国交省と連携。道内50漁協に調査。
- ③ メディア露出20回以上。子ども海藻アカデミーでの学び共有と、青海苔調査
報告のタブロイド10万部を発行し、函館近郊の全児童に配布＆市内配布。

質的成果（次なる展開への芽）

- ① 海洋教育の専門家による講義や、講座の企画運営に関する研修を受け、
関係者の知識・意欲が向上。
- ② 参加児童の中から、当会での体験・学びを元に32ページものレポートを作成
するスーパーキッズが現れた。
- ③ 青海苔が有名料理人から高評価。「分とく山」は催事・料理教室で追加使用、
「レストランアクアバツア」は公式YouTubeで紹介し2万回再生

2021年度 課題点

- ① より、リアルな自然体験をきっかけとした海洋教育へ
- ② 子どもたちの興味関心を切り口にした企画運営
- ③ 次のステップを見据えたプログラム、コンテンツ開発

2022年度 改善点

- ① 釣り＋総合的な海の学びの海洋教育プログラム開発
- ② 「映像×海洋教育」のプログラム、コンテンツ開発
- ③ 新たな連携先との協働

参考資料



水槽で泳ぐホッケ

函館朝市ミニ水族館。今年度テーマは「海と食」。
水槽をいかした子ども向け講座、
朝市の飲食店とのコラボ企画も実施。



津軽海峡に面した海岸にて、
「海藻の森探検」・「磯の生物観察会」



【3つの新講座を企画開催】
「海のプランクトン観察」「磯の生物観察」
「昆布のタッチプール&子ども海藻大使の解説」



北海道、奥尻島、国土交通省などと連携し、
1泊2日「奥尻島ホソメコンブ調査隊」を実施。
児童発表には、奥尻町長・北海道局長が参加。



北海道産天然青海苔メニュー開発・飲食店連携
(写真は「分とく山」野崎総料理長)



未利用海藻「北海道産天然青のり」学校給食
を通じ、海の学び提供（10校、970人対象）

新入りです よろしくね

函館朝市ミニ水族館に登場



函館市内の大学・企業関係者による「はじめての海の教室」が、函館朝市ミニ水族館に登場した。この日は、朝市ミニ水族館の職員が、子どもたちに海の生き物の生態や、海の生き物の役割について説明した。また、海の生き物のイラストを制作するワークショップも行われた。

朝市ミニ水族館は、朝市ミニ水族館の職員が、子どもたちに海の生き物の生態や、海の生き物の役割について説明した。また、海の生き物のイラストを制作するワークショップも行われた。

日本付近が進める「海と日本プロジェクト」の一環、朝市ミニ水族館は朝市の「えき」に併設し、内の子約り掘り堀り、水産4基を把握して函館海で取れる魚を展示している。

今回、北大水産学部から提供された北アサギ、サマシ、別々の水槽で泳いでいる。バネルでは、サクラマスは川で生まれたサマシが海に出て成長した魚を、詳しく解説している。

同実行委員事務局の仙田君は「朝市ミニ水族館は朝市の「えき」に併設し、内の子約り掘り堀り、水産4基を把握して函館海で取れる魚を展示している。」と話す。入館無料、午前7時～午後5時、7月1日まで。（和信）

脱皮したイソガニ「やわらかい」

函館 親子で磯の生き物観察会



朝市ミニ水族館の職員が、子どもたちに海の生き物の生態や、海の生き物の役割について説明した。また、海の生き物のイラストを制作するワークショップも行われた。

朝市ミニ水族館は、朝市ミニ水族館の職員が、子どもたちに海の生き物の生態や、海の生き物の役割について説明した。また、海の生き物のイラストを制作するワークショップも行われた。

水槽のお魚

児童が描く

朝市ミニ水族館の職員が、子どもたちに海の生き物の生態や、海の生き物の役割について説明した。また、海の生き物のイラストを制作するワークショップも行われた。

朝市ミニ水族館は、朝市ミニ水族館の職員が、子どもたちに海の生き物の生態や、海の生き物の役割について説明した。また、海の生き物のイラストを制作するワークショップも行われた。

函館産マコンブにタッチ

みらい館で初のPRイベント



天然マコンブを触りぬめりを確かめる子どもたち

朝市ミニ水族館の職員が、子どもたちに海の生き物の生態や、海の生き物の役割について説明した。また、海の生き物のイラストを制作するワークショップも行われた。

朝市ミニ水族館は、朝市ミニ水族館の職員が、子どもたちに海の生き物の生態や、海の生き物の役割について説明した。また、海の生き物のイラストを制作するワークショップも行われた。

掃除に餌やり児童真剣

ミニ水族館で飼育員体験



朝市ミニ水族館の職員が、子どもたちに海の生き物の生態や、海の生き物の役割について説明した。また、海の生き物のイラストを制作するワークショップも行われた。

朝市ミニ水族館は、朝市ミニ水族館の職員が、子どもたちに海の生き物の生態や、海の生き物の役割について説明した。また、海の生き物のイラストを制作するワークショップも行われた。

海藻の森探検

カニ、ヒトデ見つけた！

子どもら海の生物を観察



朝市ミニ水族館の職員が、子どもたちに海の生き物の生態や、海の生き物の役割について説明した。また、海の生き物のイラストを制作するワークショップも行われた。

朝市ミニ水族館は、朝市ミニ水族館の職員が、子どもたちに海の生き物の生態や、海の生き物の役割について説明した。また、海の生き物のイラストを制作するワークショップも行われた。

◎主なメディア掲載

	媒体種	媒体名	内容
5月12日	新聞	函館新聞	海藻の森探検
5月13日	新聞	北海道新聞	海藻の森探検
5月28日	新聞	北海道新聞	朝市ミニ水族館
5月31日	新聞	函館新聞	海藻の森探検
6月5日	新聞	函館新聞	朝市ミニ水族館
6月10日	新聞	北海道新聞	海藻の森探検
7月31日	新聞	函館新聞	お魚お絵かき
8月11日	新聞	函館新聞	函館真昆布イベント
8月11日	WEB	Yahoo!ニュース	函館真昆布イベント
8月11日	WEB	函館経済新聞	函館真昆布イベント
8月20日	雑誌	北海道じゃらん	朝市ミニ水族館
8月21日	新聞	函館新聞	水族館飼育員体験
9月3日	新聞	函館新聞	磯の生き物観察会
11月6日	新聞	函館新聞	青のり学校給食
11月13日	新聞	北海道新聞	青のり学校給食
11月14日	新聞	北海道新聞	函館真昆布展
11月21日	テレビ	HBC	子ども海藻アカデミー
11月22日	新聞	北海道新聞	子ども海藻アカデミー
11月24日	新聞	函館新聞	子ども海藻アカデミー
12月11日	新聞	函館新聞	青のり料理コンテスト
12月11日	新聞	日本経済新聞	青のり
12月16日	新聞	北海道新聞	青のり料理コンテスト
2月4日	新聞	北海道新聞	朝市ミニ水族館
2月9日	新聞	函館新聞	朝市ミニ水族館
2月17日	テレビ	NHK	朝市ミニ水族館
2月17日	テレビ	NHK-BS	朝市ミニ水族館
3月5日	テレビ	STV	朝市ミニ水族館

※テレビ4回、新聞20回、雑誌1回、WEB150回以上掲載(広告費換算のべ1,500万円以上)